



## IFALPA Dangerous Goods (DG) Committee 出席報告

今回の DG Committee はフィンランドのヘルシンキで行われました。毎年 ICAO・Annex 18 に反映する内容を議論する会議 (DGP=Dangerous Goods Panel) が秋に行われ、本来であればこの会議直前に IFALPA DG Committee を行い DGP で議論する内容を精査しますが、今回は危険物取り扱いと関係の深い Security Committee (SEC) と日程を調整し、双方が意見交換を実施する機会と位置付けてこの時期に開催しました。貨物会社の Pilot を含む 15 名と SEC Committee からの 2 名を加え、大変有意義な議論が行われましたが、残念ながら、Dangerous Goods を議論するうえで欠かせないアジア諸国からの参加は今回も日本のみでした。

### <主な議論内容>

- ・ ICAO、IATA、UN(国連)、IAEA(世界原子力機構)などの会議体出席報告
- ・ IFALPA Annex 18 の Review
- ・ リチウムバッテリー
- ・ 無申告危険物(Undeclared)、誤申告危険物(Miss Declared) について
- ・ NOTOC(Notice to Captain、=S/L 通知書) について etc....



フィンランドの委員と

### <バッテリーなどを扱う人員(客室乗務員を含む)への訓練を義務付ける Policy の新設>

会社などの使用者に対し、バッテリー火災に備えてそれらに携わる人員に必要な訓練を行う内容の Policy は現時点で存在していません。機内に iPad などの電子機器の数が増大している背景を踏まえ、Policy の新設を視野に議論を進めています。

### <リチウムバッテリーの主な発火原因>

リチウムバッテリーが発火原因と推測される数多くの事例が報告されていることは、日乗連 News などですでに紹介しています。バッテリーの発火が起きる主な原因は以下の 3 つです。

- ① **External Short Circuit** . . . . 金属などの伝導体で一極と+極が通電する
- ② **Internal Short Circuit** . . . . 製造段階での不良品、または落下による損傷を与えてしまう等
- ③ **External Heat** . . . . 外部から熱が伝わる (充電した直後も熱を帯びているなど)

IATA の危険物分類では、リチウムバッテリーは Class 9 「その他の危険物」に分類されますが、多数のバッテリーに関連する事例が報告されている中、より安全な輸送環境を整備することが急務です。そこで新たな分類「Class 10」を新設して、特化して対応してはどうかと言う議論も行われています。しかしながら、バッテリーメーカーをはじめ様々な分野・産業に影響を及ぼす内容であり、慎重な議論が必要な状況であることも勘案しながら、引き続き Pilot を含む現場の声を中心に議論していかねばなりません。

今回は SEC Committee との合同開催でしたが、Undeclared DG や Miss Declared DG、不適切な梱包貨物 (Improper Packing DG) 等にどう対応するかという議論に焦点を当てる SEC Committee に対し、DG Committee はリチウムバッテリーなどの危険物自体に焦点を当て、どのようなルール策定が安全な危険物輸送に寄与するかを議論します。結果として両 Committee が Safety を基盤として一本化した議論を行うのは困難であると再認識する結果となりました。次回の Committee は従来通り、ICAO/DGP に合わせ 2013 年秋に開催する予定です。

以上